

# 協業ネットワークを構築し 表面処理全般における ソリューション企業をめざす

納期相談 企画力自信有 メイジンジャパン 試作可小ロット 産対応



強度の必要な重要保安部品の多くには、熱処理が施されている

## 熱処理と自動塗装を軸に さまざまな可能性を模索

焼き入れを中心とした熱処理など、金属部品の表面処理加工に特化したさまざまな事業を展開しているのが、1969年創業の理化学工業だ。熱処理とは、金属を目的や用途に応じ、融点以下の適した温度に加熱・冷却することによって求められる性質に変化させる作業。森嶋勲社長はこう語る。「自動車やオートバイ、トラクター、自転車の変速機など、それらを構成する重要保安部品の多くは、熱処理加工が施されています。特に昨今は金属部品の小型化や軽量化が進み、熱処理加工による強度の確保がますます重要になってきているんですね」。ひと口に熱処理といってもさまざまな方法があるのだが、同社は40年以上培った豊富な経験と知識をベースに、規模に関係なく幅広い製品に対応しているのが最大の強みだ。



塗装部門を独立させた有限会社アールケイ興業。朝に入荷し、夕方のお渡し可能なスピード対応

また、1981年には有限会社アールケイ興業として塗装部門を独立事業化。

自社に自動塗装ラインを設置しており、0番クラスの小さなネジにも対応。試作から大量生産までどんな案件にも幅広く対応している。「色や形状にもよりますが、朝入荷↓夕方お渡し」といった超スピード納品にも対応しています。一度注文していた製品は塗料管理システムでデータ化していますので、リピート発注にも即座に対応できますよ。クリートムも完備しており、ゴミやホコリの付着が許されない部品にも万全の体制で対応している。

## 3年前に開発課を設置 人材育成にも力を入れる

これまでに培った技術をより幅広い分野に活かしたいと、同社は3年前に新たに開発課を設けた。そこでは3人のスタッフが試作品の開発や情報集めに奔走しており、新たな可能性も芽生えてきたと森嶋社長は語る。「ただ言われたことをこなすだけでなく、こちらからアイデアをどんどん提案していく姿勢がこれからの時代には必要だと思うんです。ですから仕事面のスキルアップだけでなく、人間的成長をめざした人材育成にも力を入れています」。

可能性に枠を設けないアグレッシブな事業展開が実を結び、今や世界中で使われている変速機付き自転車の4台に1台には、同社の熱処理加工が施されているという。「協業ネットワークを構築し、表面処理全般に対応できるソリューション企業をめざしたい。いずれはロボットや医療の分野にも進出できればと思っています。森嶋社長の夢は、未来へと向かってどんどん広がっている」。

**Company Profile**

理化学工業株式会社 ISO 9001 大阪22

住所 〒581-0035 八尾市西戸削2-6  
TEL 072-920-3044  
FAX 072-948-1044  
創業 昭和44年4月1日  
資本金 1,000万円  
従業員 42名  
代表取締役社長 森嶋 勲


**■主な事業内容**  
金属熱処理加工、その他表面処理加工

**■主な取引先**  
自動車部品メーカー、自転車部品メーカー、建築部品メーカー 等

<http://www.rk-k.jp>

**他社には負けない** **当社のものでぐりセールスポイント**

幅広い技術ネットワークを活用し顧客のニーズに応えていきます

代表取締役社長 森嶋 勲 さん 

長年培ってきた熱処理および塗装の技術をもとに、産業集積地・八尾にある利点を活かし、地域ネットワークや研究機関、大学、行政との産官学ネットワークの構築に尽力しています。地域や社会の発展にも貢献したい。それが当社の願いです。